

北条海岸の養浜について

～砂の流出への根本的な対応を～

北条海岸の砂が繰り返し流出し、三軒町休憩所前などで海岸の階段の基礎に置かれた石が表れています。大きな段差となって危険であり、波打ち際に石が露出していると、海水浴には利用できません。

昨年の11月12日に行われたディズニーパレードの前に砂を運び込んでいったん修復されましたが、数日後の大嵐ですべて流出してしまいました。テトラポットを置いたり、いくつかの突堤が作られたことで、潮の流れが変化しています。根本的な対応が必要と考えます。館山市にとって大切な観光スポットであり、市民の憩いの場所です。千葉県と協議を積極的に進めて対応して欲しいと思います。



北条海岸の三軒町休憩所前の砂浜の様子(令和5年10月6日撮影)

観光戦略について ～インバウンドも視野に入れた観光客の受け入れ準備を～



海の観光の拠点である“渚の駅”たてやま

館山市の観光の中心は“海”です。海の魅力に磨きをかけることが、観光客を呼び込むことに繋がります。東京からの距離の近さから、首都圏をメインに観光プロモーションを行っていますが、関西方面でも旅番組などで紹介されており、関西からの「旅行」の目的地としてアピールすることで、宿泊客を増やすことができます。また、観光案内の外国語表記、外国語によるバスの時刻表などを整備することも必要です。外国人観光客向けの観光サイトへの情報発信も積極的に行い、羽田、成田の空港から近い地の利を生かして外国人観光客の誘致も可能と考えます。観光戦略を練り、ターゲットに合わせた受け入れ準備を行うことが大切です。

主な補正予算

住民税非課税世帯給付金・・・5億1,946万円(すべて国の給付金)
物価高騰の負担感が大きい低所得世帯への7万円×7300世帯(予定)

障害介護給付費・・・4,900万円(2/3国、1/3一般財源)

障害福祉サービスの利用者の増加により増額
(補正前)11億9,787万円 延べ11,033人(見込)
(補正後)12億4,688万円 延べ12,028人(見込)

キャッシュレス決済ポイント還元事業
・・・4,000万円(国3,600万円、一般財源400万円)
PayPayで3月ごろ実施予定

防災無線整備事業・・・3,945万円
老朽化による劣化の著しい4か所の拡声支局の更新

清掃センター設備改修事業・・・3,773万円
老朽化した非常用発電機の更新

道路新設改良費・・・3,900万円
稲交差点付近の改良事業



おわりに



昨年は世界中で大きな災害が起きました。また、北極圏では氷が溶けだし、赤道付近では砂漠化が広範囲で広がっています。地球温暖化が進んでいることを実感します。海水温の変化のために魚などの生息域が変わり、海藻も育ちにくくなっています。夏の高温のため、新潟などの米どころで不作となりました。

ウクライナでの戦争は終結が見えず、ガザ地区の悲惨な状況も毎日のように伝えられています。この地球がどうなってしまうのか、子や孫の世代に暮らしやすい環境を残せるのか不安になります。たとえ小さなことでも、自分たちのできることを行い、少しでも良い状態で地球を次の世代に手渡すことを改めて考えませんか。

